

令和2年度尾張北部地域（第1小ブロック）循環型社会形成推進地域計画の進捗状況の公表について

平成29年4月1日から令和4年3月31日までの5年間を計画期間としている尾張北部地域（第1小ブロック）循環型社会形成推進地域計画について、令和2年度実績における計画の進捗状況は以下のとおりです。

1 目標に対する進捗状況
（ごみ処理）

【尾張北部地域（第1小ブロック）】

		現 状(割合) ^{※1}	実 績(割合) ^{※1}	目 標(割合) ^{※1}
		(平成27年度)	(令和2年度)	(令和4年度)
排出量	事業系 総排出量 ①	15,104 トン	13,536 トン (-10.4%)	14,274 トン (-5.5%)
	1 事業所当たりの排出量 ^{※2}	1.79 トン/事業所	1.63 トン/事業所 (-8.9%)	1.69 トン/事業所 (-5.6%)
	生活系 総排出量 ②	49,637 トン	49,544 トン (-0.2%)	47,499 トン (-4.3%)
	1 人当たりの排出量 ^{※3}	163 kg/人	165 kg/人 (1.2%)	158 kg/人 (-3.1%)
	集団回収量 ③	5,254 トン	2,169 トン (-58.7%)	5,597 トン (6.5%)
	排出量合計 ①+②=④	64,741 トン	63,080 トン (-2.6%)	61,773 トン (-4.6%)
	総排出量合計 ③+④=⑤	69,995 トン	65,249 トン (-6.8%)	67,370 トン (-3.8%)
再生利用量	直接資源化量	3,111 トン (4.8%)	2,880 トン (4.6%)	2,927 トン (4.7%)
	総資源化量	13,389 トン (20.7%)	10,467 トン (16.6%)	13,137 トン (21.3%)
	総資源化量(集団回収量含む)	18,643 トン (26.6%)	12,636 トン (19.4%)	18,734 トン (27.8%)
熱回収量	熱回収量（年間の発電電力量及び熱利用量）	—	—	0 MWh ^{※4} 0 GJ ^{※4}
減量化量	中間処理による減量化量	45,061 トン (69.6%)	46,266 トン (73.3%)	42,694 トン (69.1%)
最終処分量	埋立最終処分量	6,291 トン (9.7%)	6,347 トン (10.1%)	5,942 トン (9.6%)

※1 排出量は現状に対する割合、その他は排出量(④)に対する割合

ただし、総資源化量(集団回収量含む)については総排出量合計(⑤)に対する割合

※2 (1事業所当たりの排出量) = { (事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量) } / (事業所数)

※3 (1人当たりの排出量) = { (生活系ごみの総排出量) - (生活系ごみの資源ごみ量) } / (人口)

※4 熱回収を行う新ごみ処理施設の供用開始は令和7年度の予定

《用語の定義》

排出量 : 事業系、生活系ごみを問わず、出されたごみの量(集団回収されたごみを除く)[単位: トン]

再生利用量 : 集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和[単位: トン]

熱回収量 : 熱回収施設において発電された年間の発電電力量[単位: MWh]及び熱利用量[単位: GJ]

減量化量 : 中間処理量と処理後の残さ量の差[単位: トン]

最終処分量 : 埋立処分された量[単位: トン]

【犬山市】

		現 状(割合) ^{**1}	実 績(割合) ^{**1}	目 標(割合) ^{**1}
		(平成27年度)	(令和2年度)	(令和4年度)
排出量	事業系 総排出量 ①	6,071 ト	5,139 ト (-15.4%)	5,675 ト (-6.5%)
	1事業所当たりの排出量	2.26 ト/事業所	1.98 ト/事業所 (-12.4%)	2.11 ト/事業所 (-6.6%)
	生活系 総排出量 ②	16,172 ト	15,969 ト (-1.3%)	15,072 ト (-6.8%)
	1人当たりの排出量	168 kg/人	175 kg/人 (4.2%)	164 kg/人 (-2.4%)
	集団回収量 ③	1,518 ト	713 ト (-53.0%)	1,346 ト (-11.3%)
	排出量合計 ①+②=④	22,243 ト	21,108 ト (-5.1%)	20,747 ト (-6.7%)
	総排出量合計 ③+④=⑤	23,761 ト	21,821 ト (-8.2%)	22,093 ト (-7.0%)
再生利用量	直接資源化量	3,085 ト (13.9%)	2,588 ト (12.3%)	2,900 ト (14.0%)
	総資源化量	3,887 ト (17.5%)	3,561 ト (16.9%)	3,650 ト (17.6%)
	総資源化量(集団回収量含む)	5,405 ト (22.7%)	4,274 ト (19.6%)	4,996 ト (22.6%)
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	—	—	0 MWh ^{**4}
減量化量	中間処理による減量化量	15,567 ト (70.0%)	14,811 ト (70.2%)	14,496 ト (69.9%)
最終処分量	理立最終処分量	2,789 ト (12.5%)	2,736 ト (13.0%)	2,601 ト (12.5%)

【江南市】

		現 状(割合) ^{**1}	実 績(割合) ^{**1}	目 標(割合) ^{**1}
		(平成27年度)	(令和2年度)	(令和4年度)
排出量	事業系 総排出量 ①	5,305 ト	4,661 ト (-12.1%)	4,871 ト (-8.2%)
	1事業所当たりの排出量	1.47 ト/事業所	1.26 ト/事業所 (-14.3%)	1.35 ト/事業所 (-8.2%)
	生活系 総排出量 ②	20,874 ト	20,879 ト (0.1%)	19,971 ト (-4.3%)
	1人当たりの排出量	159 kg/人	158 kg/人 (-0.6%)	156 kg/人 (-1.9%)
	集団回収量 ③	2,018 ト	620 ト (-69.3%)	2,220 ト (10.0%)
	排出量合計 ①+②=④	26,179 ト	25,540 ト (-2.4%)	24,842 ト (-5.1%)
	総排出量合計 ③+④=⑤	28,197 ト	26,160 ト (-7.2%)	27,062 ト (-4.0%)
再生利用量	直接資源化量	0 ト (0.0%)	170 ト (0.7%)	0 ト (0.0%)
	総資源化量	5,600 ト (21.4%)	4,188 ト (16.4%)	5,424 ト (21.8%)
	総資源化量(集団回収量含む)	7,618 ト (27.0%)	4,808 ト (18.4%)	7,644 ト (28.2%)
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	—	—	0 MWh ^{**4}
減量化量	中間処理による減量化量	18,386 ト (70.2%)	19,165 ト (75.0%)	17,353 ト (69.9%)
最終処分量	理立最終処分量	2,193 ト (8.4%)	2,187 ト (8.6%)	2,065 ト (8.3%)

【大口町】

		現 状(割合) ^{**1}	実 績(割合) ^{**1}	目 標(割合) ^{**1}
		(平成27年度)	(令和2年度)	(令和4年度)
排出量	事業系 総排出量 ①	2,246 ト	2,222 ト (-1.1%)	2,100 ト (-6.5%)
	1事業所当たりの排出量	2.33 ト/事業所	2.41 ト/事業所 (3.4%)	2.18 ト/事業所 (-6.4%)
	生活系 総排出量 ②	5,537 ト	5,577 ト (0.7%)	5,675 ト (2.5%)
	1人当たりの排出量	153 kg/人	157 kg/人 (2.6%)	149 kg/人 (-2.6%)
	集団回収量 ③	1,160 ト	588 ト (-49.3%)	1,190 ト (2.6%)
	排出量合計 ①+②=④	7,783 ト	7,799 ト (0.2%)	7,775 ト (-0.1%)
	総排出量合計 ③+④=⑤	8,943 ト	8,387 ト (-6.2%)	8,965 ト (0.2%)
再生利用量	直接資源化量	0 ト (0.0%)	89 ト (1.1%)	0 ト (0.0%)
	総資源化量	2,449 ト (31.5%)	1,336 ト (17.1%)	2,569 ト (33.0%)
	総資源化量(集団回収量含む)	3,609 ト (40.4%)	1,924 ト (22.9%)	3,759 ト (41.9%)
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	—	—	0 MWh ^{**4}
減量化量	中間処理による減量化量	4,739 ト (60.9%)	5,790 ト (74.2%)	4,628 ト (59.5%)
最終処分量	理立最終処分量	595 ト (7.6%)	673 ト (8.6%)	578 ト (7.4%)

【扶桑町】

		現 状(割合) ^{**1}	実 績(割合) ^{**1}	目 標(割合) ^{**1}
		(平成27年度)	(令和2年度)	(令和4年度)
排出量	事業系 総排出量 ①	1,482 ト	1,514 ト (2.2%)	1,628 ト (9.9%)
	1事業所当たりの排出量	1.26 ト/事業所	1.37 ト/事業所 (8.7%)	1.38 ト/事業所 (9.5%)
	生活系 総排出量 ②	7,054 ト	7,119 ト (0.9%)	6,781 ト (-3.9%)
	1人当たりの排出量	168 kg/人	167 kg/人 (-0.6%)	160 kg/人 (-4.8%)
	集団回収量 ③	558 ト	248 ト (-55.6%)	841 ト (50.7%)
	排出量合計 ①+②=④	8,536 ト	8,633 ト (1.1%)	8,409 ト (-1.5%)
	総排出量合計 ③+④=⑤	9,094 ト	8,881 ト (-2.3%)	9,250 ト (1.7%)
再生利用量	直接資源化量	26 ト (0.3%)	33 ト (0.4%)	27 ト (0.3%)
	総資源化量	1,453 ト (17.0%)	1,382 ト (16.0%)	1,494 ト (17.8%)
	総資源化量(集団回収量含む)	2,011 ト (22.1%)	1,630 ト (18.4%)	2,335 ト (25.2%)
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	—	—	0 MWh ^{**4}
減量化量	中間処理による減量化量	6,369 ト (74.6%)	6,500 ト (75.3%)	6,217 ト (73.9%)
最終処分量	理立最終処分量	714 ト (8.4%)	751 ト (8.7%)	698 ト (8.3%)

施策種別	事業番号	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業期間		施策の実施状況					
					開始	終了	犬山市	江南市	大口町	扶桑町	江南丹羽環境管理組合	尾張北部環境組合
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	処理手数料の適正化(有料化の検討)	ごみ処理費用負担の適正化	犬山市 江南市 大口町 扶桑町 江南丹羽環境管理組合	継続	継続	・構成自治体の指定ごみ袋の統一及び有料化の検討	・近隣市町の動向を見つつ、調査研究を実施	・有料化の実施	・事業系ごみの処理手数料について、近隣市町の動向を見つつ、調査研究を実施している。	・廃棄物処理手数料については、近隣団体の動向を見つつ、調査研究を実施	
	12	環境教育、環境学習の推進・啓発	出前講座等の実施、小学生向けの副読本の作成、環境施設見学会の実施、住民・事業者への情報提供等	犬山市 江南市 大口町 扶桑町 江南丹羽環境管理組合	継続	継続	・出前講座の実施、小学生向けの副読本の作成及びごみ処理施設見学会の実施 ・スマートフォンに対応したごみ分別アプリを導入(ごみ出し日の通知機能、分別区分の検索機能等) ・ごみ収集なんでも百科・ごみ分別アプリ・指定ごみ袋の多言語表示	・要望のあった地区や保育園・小学校へ出前講座の実施 ・要望のあった各区・町へのごみ減量懇談会の実施	・毎年3月に一部地域において、ごみ分別の出前講座を実施	・コロナ禍により地区等から出前講座の申請が無いため実施していない。 ・小学校3年、4年生向けの副読本に、ごみの処理と利用について記載している。 ・コロナ禍により環境美化センターの施設見学は中止した。 ・資源やごみの分別・収集日について、住民に配布される年間カレンダーや、広報紙、ホームページに記載した。 ・コロナ禍により地球環境保護宣言事業における環境映画の上映は中止した。 ・コロナ禍により地球環境保護ポスター作品展は中止した。	・ごみ処理施設及び最終処分場の施設運転状況をホームページで公開 ・施設の安全性、ごみの適正処理をPRするため、施設周辺に生息する野生動物の生体、写真を展示するとともに、地域の自然誌資料(標本)を収集保存	
	13	発生抑制	生ごみの減量及びリサイクルの推進、レジ袋削減への取り組み、食品ロス削減の推進等	犬山市 江南市 大口町 扶桑町	継続	継続	・フードドライブ(4回/年) ・食品ロス削減のための30・10運動の推進 ・事業系ごみ削減のための事業系ごみ分別リーフレットを配布 ・剪定樹木粉砕機の貸出 ・生ごみ処理機購入費への助成	・生ごみ処理機補助金の交付 ・市内スーパー等とレジ袋削減について協定の締結を実施 ・食品ロス削減のため「3010運動」の推進、食品ロス削減月推進間に合わせるなど、年3回のフードドライブの実施	・一部地域において、生ごみの堆肥化事業を実施 ・生ごみ処理機の助成金 ・剪定枝・草の拠点回収 ・レジ袋有料化の取組みを実施	・生ごみ処理機等購入補助事業において、生ごみ堆肥化容器13基の購入に対して助成を行った。 ・町内店舗4件において、レジ袋の有料化を行っている。 ・食品ロスの削減について、広報紙への記載及び、フードドライブを実施した。 ・町内事業者に対し、事業系ごみの減量及びリサイクルについてのパンフレットを配布し、指導・案内を行った。		
発生抑制、再使用の推進に関するもの	14	再使用・資源化の取り組みの推進	不用品交換情報の広報等への掲載や市民団体等へのフリーマーケット等の開催支援、集団回収活動に対する奨励金(助成金)制度による資源回収の推進、常設の資源回収拠点の設置等	犬山市 江南市 大口町 扶桑町 江南丹羽環境管理組合	継続	継続	・わん丸リサイクル小屋及び産業振興祭でのリサイクル家具等の安価譲渡 ・資源回収奨励金対象者の拡大 ・廃食用油の回収 ・羽毛ふとんの回収 ・小型家電の回収	・不用品交換を輪転するリサイクルバンク事業を毎月広報及びホームページに掲載 ・市内で資源ごみを回収している団体への助成金の交付 ・常設のリサイクルステーション及び資源ごみ(紙類)回収ボックスの設置 ・今までリサイクルできなかった雑誌をリサイクルできる雑誌として収集を実施	・集団回収活動に対する助成金を実施 ・一部地域において、資源ごみの常時回収を実施 ・食品ロス削減のためフードドライブを開催	・市民団体による、毎月1回開催したリユースショップや、東日本大震災復興みちのく未来基金応援企画としてのリユースショップに対し、支援を行った。 ・廃品再利用コンテスト作品展を実施し、44点を展示した。 ・資源ごみ集団回収事業奨励金交付金事業において、248トンの資源回収に対して補助を行った。 ・常設の資源ごみ回収拠点において、年間24,491人の利用があった。	・事業系ごみのピット搬入時に目視検査を実施し、資源ごみ及び危険物の混入状況を把握し、分別指導に活用	
	21	収集運搬	ごみ出し、収集に対する体制の検討	犬山市 江南市 大口町 扶桑町	継続	継続	・新ごみ処理施設に搬入する分別区分及び運搬ルートの検討	・市民の意見・要望をまとめ、調査研究を実施 ・市民の排出利便性向上のためリサイクルステーションにおいて小型充電式電池の収集を実施	・可燃ごみ袋の戸出しを集約して収集効率を上げる	・2市2町で新ごみ処理施設建設に係る作業部会を開き、分別区分の統一などを検討している。		
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	事業番号1、2に係る環境影響評価等業務	環境影響評価等	尾張北部環境組合	H29	R 3						・環境影響評価における準備書、評価書の作成及び現地調査を実施
		事業番号1、2に係る施設基本設計等業務	施設基本設計等	尾張北部環境組合	R 2	R 2						・施設整備を行う事業者の選定
その他	41	不法投棄対策	不法投棄防止パトロールの実施等による不法投棄の監視体制の強化	犬山市 江南市 大口町 扶桑町	継続	継続	・不法投棄防止のための監視カメラの設置及びパトロールの実施 ・不法投棄の通報があった場合の土地占有者責任の説明及び対応	・要望があった場合には防犯カメラの貸し出し及びパトロールを実施	・環境保全委員による監視活動を実施	・不法投棄監視ウィークでの河川の不法投棄物の監視等はコロナ禍により中止した。 ・愛知県地域環境保全委員による不法投棄の監視を実施した。		
	42	災害時の廃棄物処理に関する事項	災害時の廃棄物処理計画の策定、円滑かつ適正に処理できる体制の整備	犬山市 江南市 大口町 扶桑町	継続	継続	・災害廃棄物処理計画の策定	・令和元年度に災害廃棄物処理計画を策定 ・災害時における協定を関係各社等と締結を実施	・令和2年度に災害廃棄物処理計画を策定した	・令和2年12月に災害廃棄物処理計画の策定した。		

3 目標に対する進捗状況に関する評価

○排出量

排出量については、令和2年度実績では以下のとおり、事業系は目標に達しているが、生活系及び排出量合計は目標に達していない状況となっている。引き続き、事業者に対してより排出量の抑制を促すとともに、住民に対して発生抑制に関する周知啓発を図るよう努めていくものとする。

- ・排出量合計は、目標の61,773トンに対して令和2年度実績が63,080トンであり目標に達していない。
- ・事業系については、総排出量が目標の14,274トンに対して令和2年度実績が13,536トン、事業系資源ごみを除いた1事業所当たりの排出量が目標の1.69トン/所に対して1.63トン/所であり目標に達している。
- ・生活系については、総排出量が目標の47,499トンに対して令和2年度実績が49,544トン、生活系資源ごみを除いた1人当たりの排出量が目標の158kg/人に対して165kg/人であり目標に達していない。

○再生利用量

再生利用量については、令和2年度実績では以下のとおり目標に達していない状況となっている。引き続き、環境教育、啓発活動の充実を推進するとともに、新たな資源回収拠点の開設等により、市民の資源排出機会を増加させるよう努めていくものとする。

- ・直接資源化量は、目標の2,927トン（排出量に対する割合4.7%）に対して令和2年度実績が2,880トン（排出量に対する割合4.6%）であり目標に達していない。
- ・総資源化量は、目標の13,137トン（排出量に対する割合21.3%）に対して令和2年度実績が10,467トン（排出量に対する割合16.6%）であり目標に達していない。

○熱回収量

熱回収量については、既存施設では実施しておらず、令和7年度から供用開始予定の新ごみ処理施設において行う予定としている。

○減量化量

減量化量については、目標の42,694トン（排出量に対する割合69.1%）に対して令和2年度実績が46,266トン（排出量に対する割合73.3%）であり目標に達している。引き続き、処理施設において、より効率的な処理を行えるよう施設を運営していく。

○最終処分量

最終処分量は目標の5,942トン（排出量に対する割合9.6%）に対して令和2年度実績が6,347トン（排出量に対する割合10.1%）であり目標に達していない状況になっている。引き続き、処理施設において、最終処分量の低減を図れるよう施設を運営していく。